諫早市社会福祉協議会だより

かんしゃ

4月号

2022
Vol.200

おかげさまで

お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。

おかげさまで かんしゃ200号

このたび、平成17年に発行した広報紙「かんしゃ」がおかげさまで200号を迎えました。地域の皆さまとのつながりや日頃の支えあい活動に感謝するとともに、これからも誰もが安心して支え合いながら暮らせる地域づくりを広げていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

みなさまへの「かんしゃ」の気持ちを込め、諫早市社協 寺井雄一会長が題字 かんしゃ を書きました。

この広報紙は、皆さまから寄せられた会費、共同募金・寄付金などで作成しています

エスディージーズ
くらしにツナガルSDGs！

みんなが 暮らしやすいまちで あり続けるために

最近よく耳にする SDGs。社協の目指す SDGs は「持続可能な地域」をつくること、そのために「誰ひとり取り残さない」社会を実現することを目指しています。

それは、「すべての人が支え合いながら、地域で“ともに生きていく”」社会。これからの未来に向けて、私たちにできることを、4コママンガをもとに考えてみませんか。

見守る勇気をもとう！

私たちが暮らす諫早市には、子どもからお年寄り、障害のある人もない人も、みんな同じ地域に暮らしています。

自分にできること、支えてもらったら助かることは、それぞれ違います。例えば、ゴミ袋をゴミステーションまで運ぶことは大変だけど、ゴミをまとめ、家の前まで出すことはできる。

子どもだから、お年寄りだから、障害があるからと全てに手を差し伸べるのではなく、できることは見守り、困っていることにそっと手を差し伸べる。見守る勇気が、今できる力を持ち続けることへつながります。

声をかけあおう！

手を差し伸べられた方も、支えてもらうばかりではありません。重いものを持てなくても、家の近くで子どもを見守ることができます。支える側、支えられる側に分かれることなく、すべての人が役割を持ち、お互いが声をかけあい、支え合うことが大切です。

気づきを行動に移そう！

わたしたちは、加齢や病気、事故や障害等によって生活のしづらさに直面することがあります。道路の段差、ゴミステーションの金属製の蓋の重さなど、これまで感じなかった生活のあれこれ。

すぐに解決できることもありますが、話し合いを重ね、時間がかかることもあります。気づきを声に出すことは、解決への第一歩です。みんなが暮らしやすいまちであり続けるために、まずは自分にできることからはじめていきたいですね。

“できる”ことは ある！

相談してみよう！

経済的な悩みやご家族のことなど、ひとりでは解決できない、人には話しにくい困りごとはありませんか。

秘密を守りながら、相談員が一人ひとりの状況に合わせ、専門家や関係機関と連携し、一緒に解決していきます。

4月のふれあい福祉相談

一般相談

日常生活における様々な心配ごと・悩みごとなど、何でもおたずねください。

開設日	月曜日～金曜日（祝祭日を除く）
開設時間	午前10時～午後3時
場所	**ふれあい福祉相談センター**（諫早市社会福祉会館内）【専用電話】23－7022

無料専門相談

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどをおたずねください。

開設日	4月22日（金）弁護士
開設時間	午後1時30分～4時
場所	**諫早市社会福祉協議会** 電話 24－5100

※専門相談は、10日前までに予約をお願いします。

安心して暮らそう！

認知症高齢者や知的または精神障害のある方など、判断能力に不安がある方が安心して暮らせるためにお手伝いをします。

もし、次のようなことに心当たりがあれば、まずはご相談ください。

- ☑ 福祉サービスの利用のしかたがわからない
- ☑ 通帳や印鑑をよく失くしてしまう
- ☑ ひとりでお金の管理をすることが不安

詳しくは

諫早市社協 日常生活自立支援事業 検索

※地区社協とは、おおむね小学校区を単位とし、地域やその住民が抱えている課題を発見し地域でその解決に向けて取り組んでいくための住民組織です。

シリーズ地区社協　第30回

支え合いの町づくり

～小長井地区社会福祉協議会～

小長井地域は、佐賀県との県境にあり、多良連山を背に南の有明海へ扇状に広がる丘陵地帯です。豊かな自然環境に恵まれた地域です。

人口4，729人、高齢化率は39・9％と高く、小長井地区社会福祉協議会では、高齢者を対象としたふれあいいきいきサロンやひとり暮らし高齢者の集いなど高齢者を対象とした活動が活発に行われています。今後は、支え合いの町づくりに向けて、10年後、15年後を見据えた小長井地域の支え合いの体制づくりを目指し、話し合いが行われています。

高齢者の笑顔があふれる地域

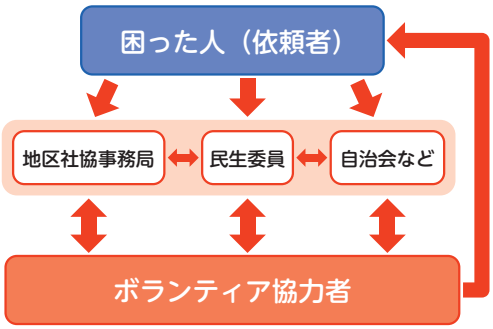
高齢化率が高いこともあり高齢者を対象とした活動が活発に行われています。その中でも閉じこもりや孤立になることを防止するふれあいいきいきサロンは、身近に寄れる公民館などで実施され、集まった高齢者は、自然と会話が弾み笑顔があふれています。

サロン参加者の会話に耳を傾けると、日頃の心配ごとや見守りが必要な方の存在など、地域の福祉課題を発見することができます。また、解決のために地区社協は関係機関と協力し、力を合わせることにも余念がありません。

いま、できること

「いつまでも住み慣れた地域で暮らしていきたい」という住民の願いを叶えるため、地区社協では、日常のちょっとした困りごとのお手伝いができる仕組みづくりに取り組んでいます。

「何事も継続することが大事。そのためには工夫も欠かせない。地域に住む一人ひとりが自分のこととしてとらえ、知恵をだしあい、協力しあえる組織づくりを目指そう！」と声をかけあっています。



※支え合いの町づくり構想図

会長	徳永　秋男
人口	4,729人 （令和4年2月1日現在）
高齢化率	39.9%

小長井地区社会福祉協議会ってどんなことしているの？

- ふれあいいきいきサロン（16箇所）
- ひとり暮らし高齢者の集い（年1回）
- 福祉協力員設置（12人）
- 世代間交流（年6回）
- 広報紙発行（年1回）

令和3年度「心の花展」WEB展示会
～障害者美術手工芸作品展～

◆公開期間：令和4年3月31日㈭まで
◆公開場所：諫早市社会福祉協議会ホームページ

表紙上部のイラストは、きぼうの里　松井さんの作品です。

諫早市社会福祉協議会
公式LINEができました！

本会の活動情報や地域の福祉活動など様々な情報をより多くの人に届けるため、開設しました。友だち登録特典として、生活応援クーポンをプレゼント中！

右のQRコードを読み込むか「@166drrzh」ID検索してください。

ぜひご登録をお願いします。

令和3年度　諫早市社会福祉協議会表彰

諫早市の社会福祉の発展と向上に貢献いただいたことに深く感謝の意を表すとともに、今後より一層のご活躍をお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症急拡大のため、今年度の表彰式は開催を中止し、個別に表彰状を授与させていただきました。

受賞者名簿（敬称略）

民生委員・児童委員（８年以上）

池田　伸二・西野　昇・嘉村　喜美子・篠崎　秀子

社会福祉団体役員又は社会福祉施設役員（10年以上）

石丸　智英・岩永　寛一・森　セツ・増山　ナツ子
松永　章子

社会福祉団体職員又は社会福祉施設職員（30年以上）

田嶋　文代

Interview　活動を通じて心に残ったことを伺いました

主任児童委員　**嘉村　喜美子**さん

主任児童委員になり、心温まるたくさんの出来事があります。

小学校での図書ボランティアをしていたとき、読み聞かせに来ていた児童が親となり、「子育てサロン」に子どもを連れて声をかけてくれたときは、成長に感動を覚え、笑みがこぼれました。

地域の方々とのつながりが広がり、現在は主に、登下校の見守りや子育てサロンの運営、地域の集いの場「めだか」でのボランティアを通して地域の子どもや保護者を見守っています。主任児童委員は、地域での活動を通して、近くで子どもの成長を見守るという魅力があります。

困ったときに気軽に相談してもらえるように、日ごろから顔の見える関係づくりを大切にし、活動に取り組んでいます。

※主任児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもと親の抱える問題に対して相談・支援活動を行っています。

真生保育園　主任保育士　**田嶋　文代**さん

保育士は子どもと一緒に自身も成長することができる魅力ある仕事です。保育の始まりは朝の挨拶から。毎日顔を見ていると、子どもや保護者の方のちょっとした変化に気づき、声をかけることができます。毎朝の挨拶が気軽に相談しやすい関係づくりにつながります。

長年勤務していると卒園後も子どもたちや保護者の方々が声をかけてくださり、子どもたちの成長を見ることができ、嬉しさで胸がいっぱいになります。なかには卒園児が親になり、２世代に渡り保育することもあり、感慨深さを感じることも。私がこうして長年継続勤務できたのは子どもたち、保護者の方々の笑顔と職場、家族の協力の賜物です。様々な方の支えがあったからこそ、今があります。今後も笑顔で活動を続けて行きます。

あなたのかんしゃ募集します

社協広報紙「かんしゃ」の題字とイラストをお寄せください！

■応募方法：①縦10㎝×横2.5㎝の枠内に自由に「かんしゃ」の文字
②正方形の枠にイラスト

それぞれ自由にデザインし、社協へ郵送ください。また、幸せを感じるときや、感謝の気持ちを抱いたときなど、一言添えてご応募ください。みなさんの「かんしゃ」お待ちしています！

編集発行
社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会
〒854-0045　諫早市新道町948番地
TEL 0957-24-5100　FAX 0957-24-5101
ホームページ　http://isahaya-shakyo.jp
（諫早市社会福祉協議会で検索ください）

Facebook　follow me　Instagram

諫早市社会福祉協議会だより「かんしゃ」では、広報誌に関するご意見、地域で行われる福祉活動や行事の情報を皆様から募集しています。

印刷：合資会社 真光社印刷